

1 調査名称：分倍河原駅周辺地区整備計画策定委託

2 調査主体：東京都府中市

3 調査圏域：分倍河原駅周辺地区

4 調査期間：平成29年度

5 調査概要：

府中市における公共交通や都市計画道路網などの現況を把握したうえで、重要な交通結節点として駅改良と連動したまちづくりが求められている分倍河原駅周辺地区について、公共交通とまちづくりの課題を整理し、総合的な交通施策の推進を図るための都市・地域交通戦略（案）を作成した。

なお、都市・地域交通戦略（案）の作成にあたっては、パブリックコメント等を実施し、住民の意見の収集に努めた。

## I 調査概要

1 調査名称：分倍河原駅周辺地区整備計画策定委託

### 2 報告書目次

1. はじめに
2. 計画準備
3. 都市・地域総合交通戦略（案）の検討
  - 3.1 資料収集・データ整理
  - 3.2 地区の現状及び課題の整理
  - 3.3 計画の方向性の整理
  - 3.4 計画目標の検討
  - 3.5 施策案の検討
  - 3.6 概算事業費の算出及び事業スケジュールの検討
  - 3.7 目標を定量化するためのアウトカム指標の検討・事業効果の把握及び評価
  - 3.8 事業推進手法の検討
4. 都市・地域総合交通戦略（案）の作成
  - 4.1 府中市都市・地域交通戦略（案）
  - 4.2 府中市都市・地域交通戦略（案）概要版
5. パブリックコメントの実施補助
  - 5.1 パブリックコメント用資料の作成
  - 5.2 実施結果の概要
6. 関係機関との協議等の補助
  - 6.1 第1回府中市都市・地域総合交通戦略検討協議会
  - 6.2 第2回府中市都市・地域総合交通戦略検討協議会
  - 6.3 第3回府中市都市・地域総合交通戦略検討協議会
  - 6.4 第4回府中市都市・地域総合交通戦略検討協議会
7. 打合せ議事録

## 3 調査体制

府中市都市・地域総合交通戦略検討協議会 (会長：早稲田大学理工学術院教授 森本 章倫)
--

## 4 委員会名簿等：

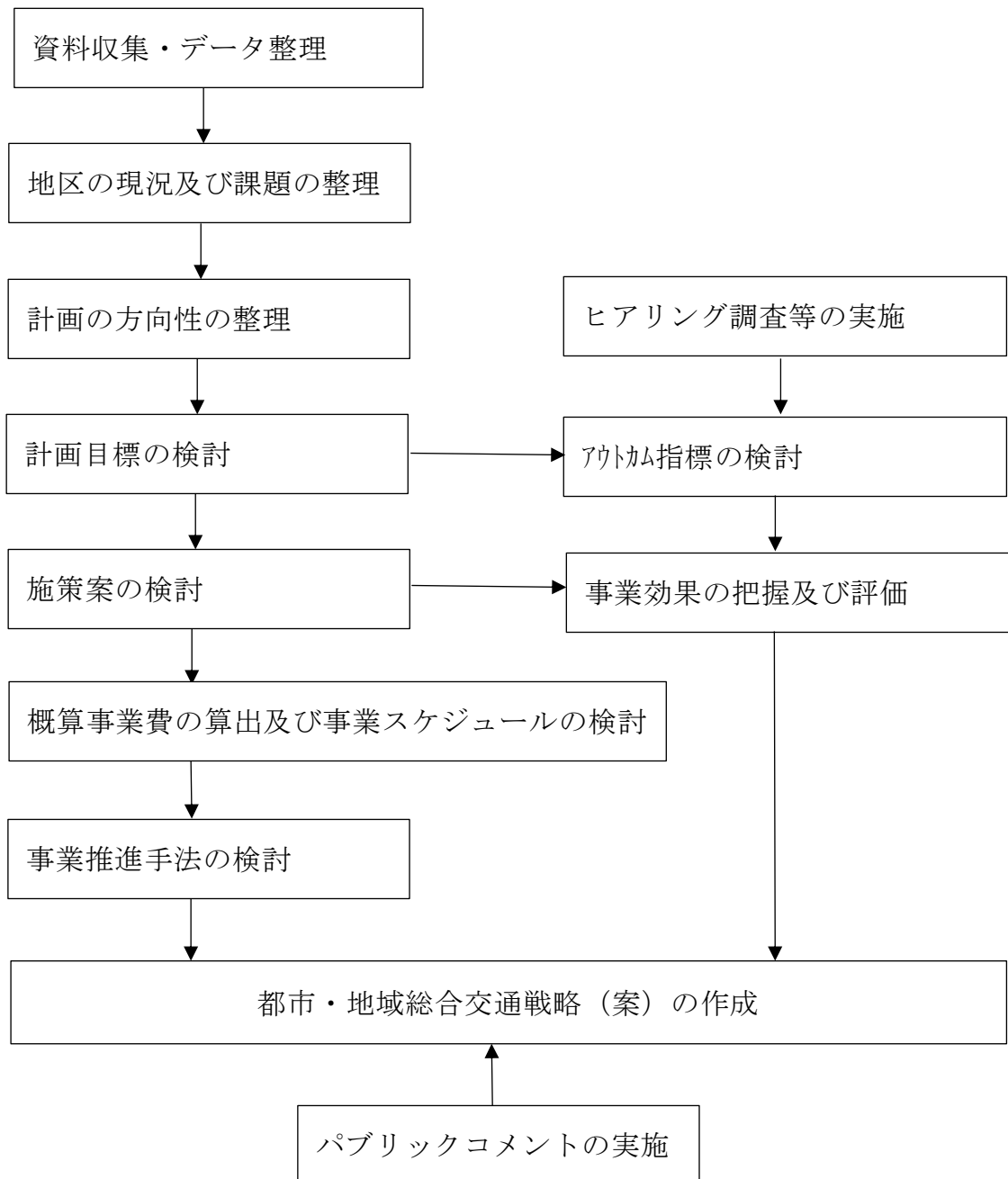
	所属	役職等	氏名
会長	早稲田大学理工学術院	教授	森本 章倫
委員	東日本旅客鉄道(株)八王子支社総務部企画室	担当課長	原 清
委員	京王電鉄(株)鉄道事業本部計画管理部計画担当	課長	志賀 英介
委員	京王電鉄バス(株)運輸営業部乗合事業担当	課長	田崎 達久
委員	一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会	業務部長	小池 毅
委員	東京都都市整備局都市基盤部交通企画課	課長	谷崎 馨一
委員	東京都都市整備局都市基盤部街路計画課	課長	澤井 正明
委員	東京都建設局北多摩南部建設事務所補修課	課長	野末 光弘
委員	警視庁府中警察署交通課	課長	脇本 史雄
委員	府中市都市整備部	部長	深美 義秋
委員	府中市都市整備部	次長兼 土木課長	塚田 雅司
委員	府中市都市整備部	副参事兼 計画課長	楠本俊二郎
委員	府中市都市整備部管理課	課長	松村 秀行
委員	府中市生活環境部地域安全対策課	課長	市川 直次

## II 調査成果

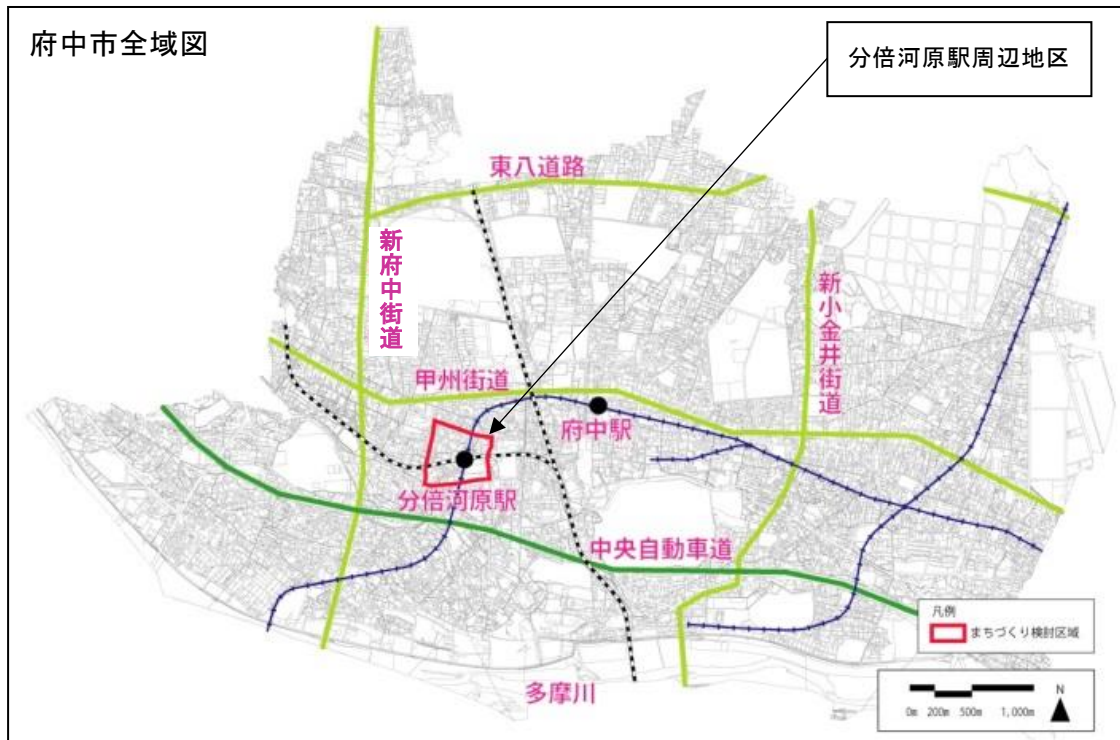
### 1 調査目的

府中市における公共交通の状況や都市計画道路網を把握したうえで、交通結節点として、早急に交通戦略の検討に取り組む必要のある分倍河原駅周辺地区について、公共交通とまちづくりの現状や課題を整理し、そのうえで、本地区の交通事業とまちづくりが連携した総合的な交通施策の推進を図るため、都市・地域総合交通戦略（案）を作成することを目的とする。

### 2 調査フロー



### 3 調査圏域図



4 調査成果

# 1 都市・地域交通戦略の概要

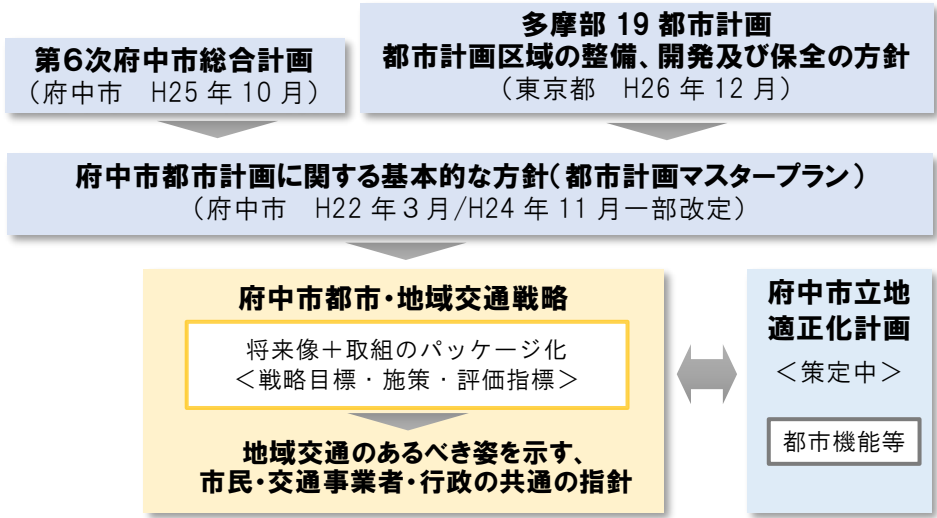
## ◆交通戦略の位置付けと役割

交通戦略では、都市計画マスタープラン等の上位計画に示されるまちの将来像とまちづくりの方針に基づき、目指すべき将来像等を示します。その上で、地域のまちづくりと連携が図られた交通施策をパッケージとして定め、中期的なプログラムに則して、着実に取り組みます。

## ◆計画期間の設定

計画期間は、交通戦略策定後からおおむね10年間とし、都市計画マスタープランの目標年次に合わせて、平成40(2028)年度を目標年次として設定します。

<交通戦略の位置付け・役割>



# 2 対象地区

地域住民によるまちづくり協議会の提案書や土地利用の観点を踏まえ、周辺地域の主動線である地区幹線道路に囲まれた、駅を中心とした徒歩圏内を分倍河原駅周辺地区として設定します。

<分倍河原駅周辺地区>



### 3 将来像の実現に向けた戦略目標と関連施策

## 将来像：「にぎわいがつながり・ひろがる 歩行者中心の 人に優しい コンパクトなまち」

- ▶方針1：生活サービスが整い、多くの人たちでにぎわうコンパクトなまち
- ▶方針2：誰もが安全・便利に移動できる歩行者中心のまち
- ▶方針3：交流や憩いの場があり、安らぎを感じられる人に優しい快適なまち

将来像の実現に向けて

#### ◆地区の課題

- 【歩行者交通】 駅へのアクセス性の改善、不十分な歩行者空間への対応、駅前空間の改善
- 【自転車交通】 自転車走行空間の未整備箇所への対応、自転車利用の在り方
- 【公共交通】 駅の混雑や輻輳した動線への対応、公共交通間のアクセス性
- 【自動車交通】 駅周辺における自動車交通対策

#### 【目標1】安全・安心して歩いて楽しめる駅周辺地区・駅前空間の形成

- 【目標が達成された姿】 ◆歩行者の安全・安心が守られている
- ◆回遊性が高まり、にぎわいが広がっている

##### ◆にぎわい軸の形成に向けた施策

- 【施策 1-1】南北自由通路の再整備
- 【施策 1-2】商店街における歩行者の安全確保

##### ◆生活軸の形成に向けた施策

- 【施策 1-3】駅へのアクセス道路の拡幅・整備
- 【施策 1-4】東西自由通路の新設
- 【施策 1-5】生活道路における歩行者環境の充実

##### ◆駅前空間の形成に向けた施策

- 【施策 1-6】駅直近への溜まり空間の確保

##### ◆外周道路の形成に向けた施策

- 【施策 1-7】歩行者空間の確保

#### 【目標2】安全・便利に利用でき、歩行者と共存し得る自転車利用環境の充実

- 【目標が達成された姿】 ◆駅周辺に安全に自転車でアクセスできる
- ◆歩行者と共存して、自転車が利用されている

##### ◆自転車アクセス動線の形成に向けた施策

- 【施策 2-1】自転車走行空間の確保・明示

##### ◆自転車駐車場に係る施策

- 【施策 2-2】自転車駐車場の移転・再配置

##### ◆にぎわい軸の形成に向けた施策

- 【施策 2-3】南北自由通路等における自転車押し歩きの促進

#### 【目標3】利便性・快適性・分かりやすさを備えた駅・交通基盤への改良

- 【目標が達成された姿】 ◆便利・快適に公共交通等が利用できる

##### ◆分倍河原駅に係る施策

- 【施策 3-1】駅舎とまちの整合

##### ◆交通基盤に係る施策

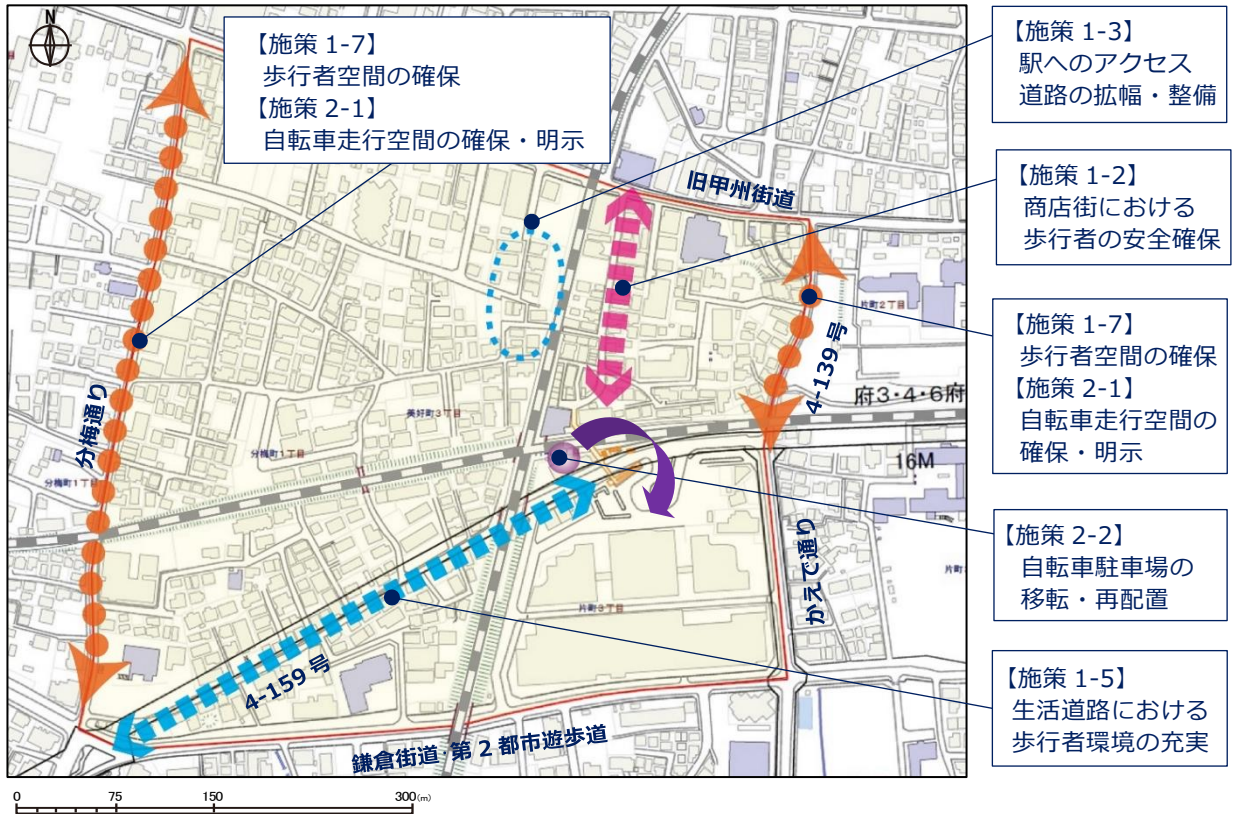
- 【施策 3-2】南側駅前広場の再整備・位置付けの検討



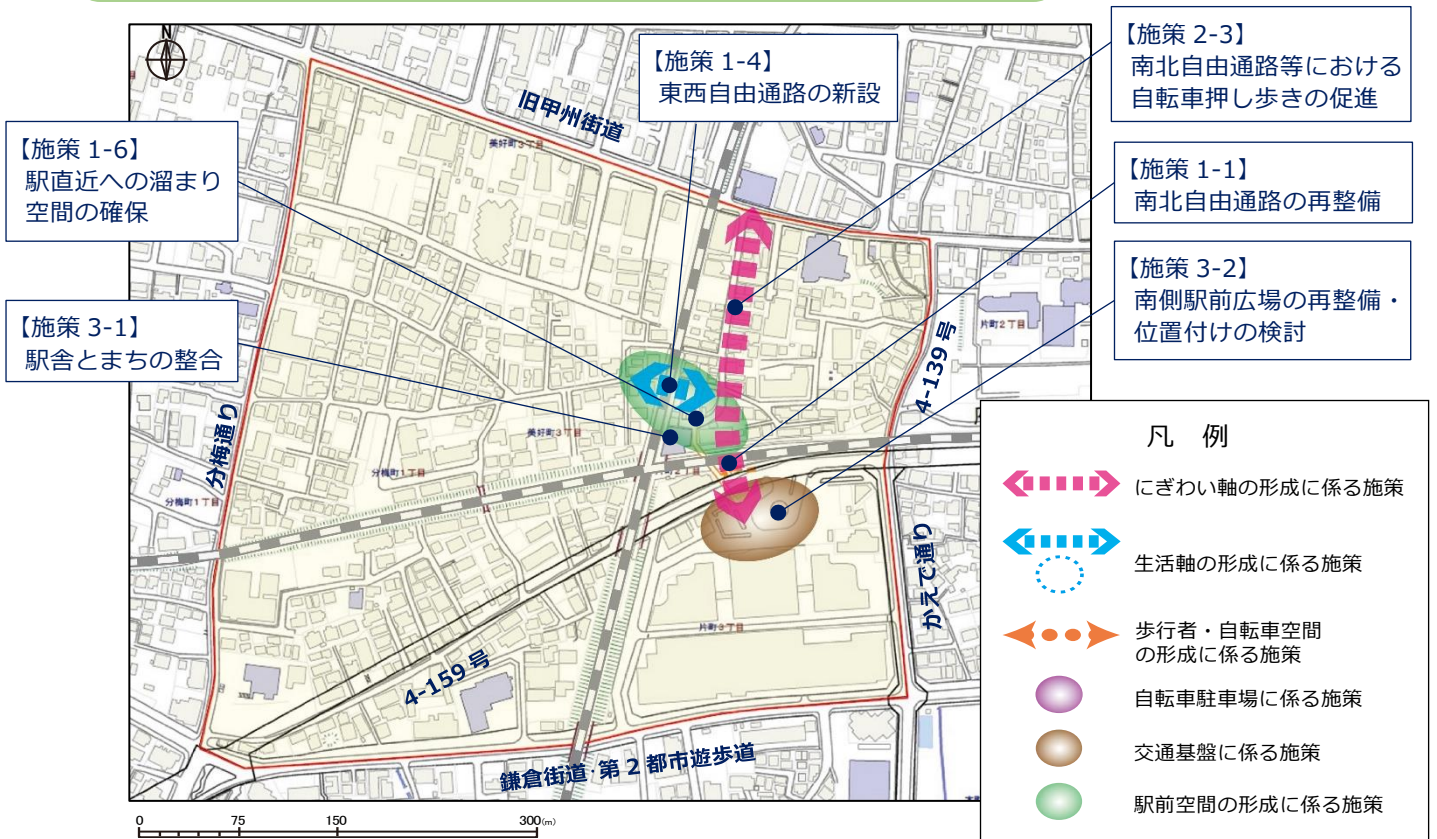
## 4 実施プログラム

施策の展開に当たっては、早期に取り組める施策から順次展開していくという視点と、段階的かつ連鎖的に施策を展開し、目指すべき将来の地区構造（歩行者・自転車ネットワーク及び駅・交通基盤の配置）に戦略的に近づけていくという視点から、次のとおり、2つのステップにより実施します。

### ステップ1：ハード整備を伴う既存機能の拡充・再編 【おおむね5年程度で実施】



### ステップ2：大規模改修を伴う新たな拠点の形成 【おおむね10年程度で実施】





## <実施プログラム>

施策	事業主体	ステップ1			ステップ2
		H30	H31	H32~H34	H35~
1-1 南北自由通路の再整備	府中市				自由通路整備
1-2 商店街における歩行者の安全確保	府中市			対策等実施	
1-3 駅へのアクセス道路の拡幅・整備	府中市			道路整備	
1-4 東西自由通路の新設	府中市				自由通路整備
1-5 生活道路における歩行者環境の充実	府中市			道路改良	
1-6 駅直近への溜まり空間の確保	府中市				広場整備
1-7 歩行者空間の確保	府中市			空間整備	
2-1 自転車走行空間の確保・明示	府中市			空間整備	
2-2 自転車駐車場の移転・再配置	府中市			自転車駐車場再整備	
2-3 南北自由通路等における自転車押し歩きの促進	府中市				押し歩き実施
3-1 駅舎とまちの整合	鉄道事業者 府中市				駅舎整備
3-2 南側駅前広場の再整備・位置付けの検討	府中市				駅前広場再整備

凡例：  
 検討・協議等  
 調査・設計・用地取得等  
 整備・対策実施

注：施策の進捗状況により変更となる場合があります。

## 5 評価指標

戦略目標の達成度合いを定量的に把握、評価する必要から、評価指標を定め、各々に目標値を設定します。（目標年は計画期間末の平成40年度末時点）

### <評価指標と目標値>

戦略目標	評価指標	目標値			
		現況値	5年後の目標値	10年後の目標値	
目標1 安全・安心して歩いて楽しめる 駅周辺地区・駅前空間の形成	①歩行者交通環境の満足度	H29	歩きやすい 31%	歩きやすい 37%	歩きやすい 65%以上
	②歩行者交通事故の件数	H24~ H28の 平均	2.2件	0件	0件
	③商店街の歩行者数	H28	18,004人 (H28駅北側 平日 6:30~20:30)	3.5%以上の増加 (約18,600人)	10%以上の増加 (約19,800人)
目標2 安全・便利に利用でき、歩行者 と共存し得る自転車利用環境の 充実	④自転車駐車場利用の状況	H29	待ち人数 200人 利用率 29% (北) 114% (北第2) 108% (南)	待ち人数: 0人 各駐車場の利用率: 75%以上	待ち人数: 0人 各駐車場の利用率: 75%以上
	①歩行者交通環境の満足度	H29	歩きやすい 31%	歩きやすい 37%	歩きやすい 65%以上
目標3 利便性・快適性・分かりやすさ を備えた駅・交通基盤への改良	⑤自駅乗降客数	H29	42,617人	3.5%以上の増加 (約44,100人)	10%以上の増加 (約46,900人)
	⑥適合していないスロープの 箇所数	H29	2か所	2か所	0か所

## 6 交通戦略の推進（事後評価）

### ◆PDCA サイクルによる推進

交通戦略では、評価指標を定期的に測定することにより、施策実施の効果の確認と、今後の施策展開に向けた見直しを行い、必要に応じて交通戦略の改定を行うこととします。

### ◆推進体制

地元協議会を始め交通事業者や関係機関等と密接に連携し、各主体との協働により交通戦略を推進してまいります。そのため、学識経験者、交通事業者、道路管理者及び交通管理者等により構成された府中市都市・地域総合交通戦略検討協議会を中心に、市内の関係組織とともに推進体制の役割を担います。